

平成 21 年 9 月 3 日

各 位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問い合わせ先 経営企画部長 鈴木 文彦
電話番号 03-5730-2480

**当社プロジェクトがNEDOの次世代戦略事業に採択
－ 薬剤溶出型 PTA バルーンカテーテルの開発 －**

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下、NEDO)は、経済社会の持続的な発展を達成するため、平成 21 年度第 2 回「イノベーション推進事業」の研究テーマを公募しておりましたが、この度、当社が提案しておりました薬剤溶出型 PTA バルーンカテーテルの開発プロジェクトが、同助成事業の「次世代戦略技術実用化開発助成事業」として採択され、NEDOより公表されましたのでお知らせいたします。

本事業の目的は、我が国技術水準の向上、イノベーションの促進を図るため、優れた技術の実用化開発に対し助成を行うこととされていますが、今回は、特に治験(臨床試験)の研究開発を含めた大きな助成として採択されました。

現在、末梢血管内治療として用いられている PTA バルーンカテーテル治療は、血管が再狭窄を起す率が高く、再度カテーテル治療を行うか、外科的バイパス手術を施行する必要があります。そこで、医薬品として開発中の抗炎症薬剤 NF- κ B デコイを PTA バルーンカテーテルの外表面に塗布することで、透析シャントや動脈硬化症など末梢血管で起き易い「バルーン拡張後の再狭窄」を予防する新しいコンセプトの医療機器の開発をいたします。これにより再度のカテーテル血管拡張処置や外科的バイパス手術の回避でき、患者 QOL の向上、患者負担の軽減が可能になります。

本開発に関しましては、本年 3 月までの「基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発／橋渡し促進技術開発」委託事業にて 200 ナノメートルの生体適合高分子 PLGA ナノ粒子に封入した NF- κ B デコイを塗布した PTA バルーンカテーテルの製造法を開発し、再狭窄動物モデルで有効性を確認しております。(平成 19 年 11 月 15 日、平成 20 年 11 月 4 日、プレスリリース)

当社はこのプロジェクトを NEDO からの支援を受けて、平成 21 年 10 月から平成 23 年 3 月までの期間にわたって、ホソカワミクロン株式会社、メディキット株式会社と共同で進めてまいります。

本件の本年度連結業績への影響は軽微であり、業績予想には修正はありません。

以上